

編集:雲仙市教育委員会生涯学習課千々石町公民館 TEL37-2520 令和3年10月15日発行



市民講座開催のお知らせ

☆大人の工作教室「キメコミアート」

キメコミアートとは伝統工芸「木目込み」の技法を使って作る平面のアートです。布で表現する楽しさを体験してみませんか。



(作品例)

【日 時】 令和3年11月17日、24日、12月2日(水) 午後7時30分～9時30分

【講 師】 江崎 敏夫氏

【参加費】 600円程度(全3回分の材料代)

【募集人員】 8名(先着順)

【持参品】 筆記用具、はさみ、マスク

【開催場所】 千々石町公民館

【申込方法】 ①電話 千々石町公民館 37-2520

②オンライン申込(上記QRコードから申し込みができます)

【申込期間】 11/4(木)～11/12(金) 窓口受付は平日午前9時～午後5時

☆伝えたい郷土の味②「いぎりす・ジャガイモのだご汁」

大切に受け継いでいきたい郷土の食文化。今回は「いぎりす」と「ジャガイモのだご汁」を調理します。



(調理例)

【日 時】 令和3年11月18日(木) 午前9時30分～午後12時30分

【講 師】 雲仙市食生活改善推進員連絡協議会千々石支部(代表 芦塚 多津子氏)

【参加費】 500円程度(材料代)

【募集人員】 12名(先着順)

【持参品】 筆記用具、エプロン、三角巾、タオル、マスク

【開催場所】 千々石保健センター

【申込方法】 ①電話 千々石町公民館 37-2520

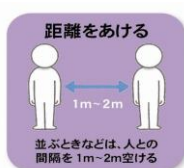
②オンライン申込(上記QRコードから申し込みができます)

【申込期間】 11/4(木)～11/12(金) 窓口受付は平日午前9時～午後5時

※今後の新型コロナウイルス感染症等の拡大状況によっては変更になる場合もあります

「公民館利用者みなさまへ」

施設利用の際には新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします。



子どもたちの健やかな心を育てるために、県民運動である「ココロねっこ運動」を推進し、大人のあり方を見直し、みんなで子どものこころをそだてましょう。





千々石図書室だより



開室時間10:00~18:00

【新着本のご案内】

一般書

●玉藻前アンソロジー～殺の巻～/朝里樹編著

御伽草子『玉藻の草紙』、能『殺生石』などで知られ、そのモデルとなったのは平安時代末期に鳥羽上皇の寵姫・藤原得子ともいわれる。最近ではゲームやマンガの中で派手な妖狐の姿や最恐のヒロインとして登場し、約600年もの間活躍し続けるキャラクターともいえる。本書は玉藻前が好きすぎる著者が、御伽草子などを現代語に訳し、その所業を読むというアンソロジー。

●フランス革命の女たち〈新版〉/池田理代子著

～激動の時代を生きた11人の物語～フランス革命といえば『ベルサイユのばら』を思い浮かべる人も多いだろう。その『ベルバラ』の作者、池田理代子がフランス革命時代を生きた11人の女性の物語を綴った本。1985年に一度出版されたが『ベルバラ』誕生50年の記念としての新版で登場。

●ミュージアムグッズのチカラ/大澤夏美著

美術館・博物館に行くとき必ず館内ショップに立ち寄りしてしまう。はじめは図録や絵葉書目当てだったが、今はグッズや他で手に入りにくいデザイン雑貨を求めたためだ。本書で紹介されているのは選りすぐりのミュージアムグッズだ。特に上野動物園の実物大パンダの赤ちゃんぬいぐるみは手に取ってみたいと思った。パンダ好きではないのに…。

●異文化コミュニケーション学/鳥飼玖美子著

●高校事変XI/松岡圭祐著(小説)

●一日のはじまり、しあわせな朝ごはん/宝島社(料理)

●知識ゼロからの空き家対策/杉谷範子著

児童書

●スキキライ相関図5/このはなさくら作

大人気シリーズ『1%』の著者による新シリーズも5巻目に突入！小学生女子の心をつかんで離さない、恋バナ。

●都市伝説探偵セツナ/都市伝説探偵事務所編

口裂け女、トイレの花子さんなど、いつの時代も怖い話はみんな大好き。探偵セツナが追う都市伝説の秘密を推理せよ！

●いちにちだじゃれ/ふくべあきひろ作

『いちにち～』シリーズの最新絵本。大人からみるとかなりシユールな絵本だが、子供たちには大人気！

●私は夢を見つづける/ジャクリン・ウッドソン作(詩集)

●ドラえもん探求ワールド知ってる？名前のひみつ/藤子・F・不二雄 まんが

●科学探偵怪奇事件ファイル/佐東みどり作

●無人島の迷路/香川元太郎作・絵

●10歳のミッション/齋藤孝著

メルヘンポッケの会

おはなしかい

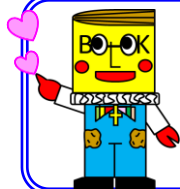
10月23日(土) 14時から
千々石町公民館 和室

*申込は不要です。マスクの着用をお願いします。



第75回読書週間のお知らせ ～今年の標語は『最後の頁を閉じた 違う私があった』です～

千々石図書室では10月27日～11月24日を秋の読書月間とし、スタンプラリー「千々石すごろく秋の陣2021」を開催します。ルールにしたがい、借りた本の冊数やクイズに答えてコマを進めます。ゴールした先着20名様に名前入り缶バッジまたは雑誌の付録、オリジナル図書バッグなどを差し上げます。



うちどく

家読とは…家族みんなが顔をそろえ 読書を通じて家族のきずなや読書習慣を深めていく活動です。

こころをつなぐ 明日をつなぐ 家族の真ん中に 家読(うちどく)